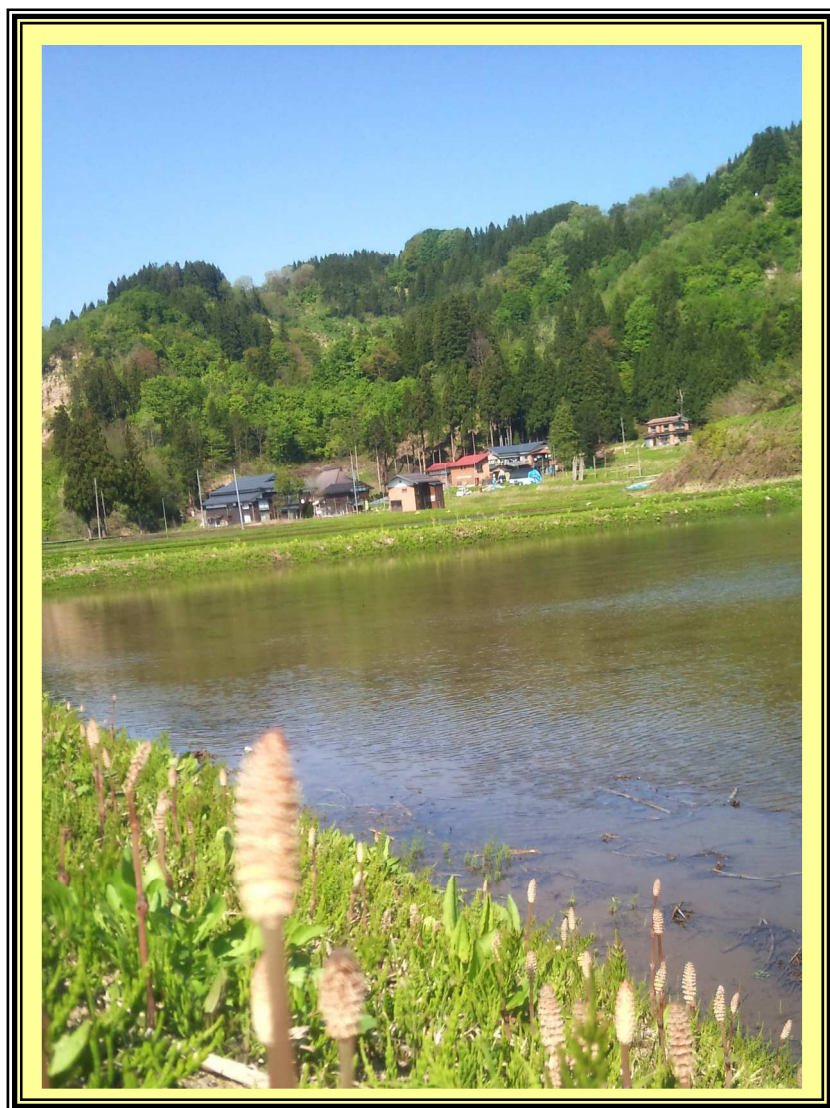


日本再発見塾 in 十日町'15 春



体験のてびき

2015. 5. 30 ~31

はじめに

今年の冬は大雪で春の作業が遅れ気味。しかし春は忘れることなくやって来ました。残雪の中でも桜が咲き、土手にはふきのとうやつくしが頭を出し、山ではブナなど芽吹きが始まり、とてもやさしい表情になってきました。今年も田植えのご案内をお送りいたします。北陸新幹線の開通の陰でほくほく線の特急「はくたか」が姿を消しました。それでも越後妻有の春は、今年も変わらずやってきました。

ところで、今年は8月22日、23日にいよいよ「日本再発見塾」の本塾を十日町で開催することになりました。これまで自主開催としてこれまで40回行ってきた日本再発見塾 in 十日町ですが、日本再発見塾の呼びかけ人代表の黛まどかさんを初め多くの呼びかけ人の皆さんのお越し頂き十日町を再発見します。呼びかけ人のお一人でtricoのアドバイザーもお引き受け頂いている「分とく山」の総料理長野崎洋光さん。8月の本塾の準備も兼ねてこの春の田植えにご参加頂くことになりました。2日目には地元のお母さん方にも入って頂き、春山の豊かな山菜、越後妻有の食材を使った料理を野崎さんと一緒に作り、食べ、語る、楽しいひとときをしたいと思います。和食の料理人の第一人者である野崎洋光さんと料理を一緒にできることはなかなかできない体験です。奮ってのご参加お待ちしております。

2015年4月吉日

<お問合せ先>



一般社団法人 源流地域資源再生ネットワーク

<http://trico-gen.jp>

〒948-0006 新潟県十日町市四日町1426の6

tel.090-9379-8407 ikeda@trico-gen.jp

池田 徹



ご案内

集合 5月30日(土) 11:40 農舞台「まつだい里山食堂」

1 日目:平成27年5月31日(土)

11:30	受付 開講式
11:50	まつだい里山食堂で昼食
12:50	バスで出発 中尾集落
13:30	中尾集落にて田植え
17:00	松之山温泉チェックイン 入浴
18:00	夕食
19:00	地炉にて交流会
22:00	交流会終了 就寝



2 日目:平成27年5月31日(日)

07:30	朝食
08:15	チェックアウト バス出発
08:30	山菜の採り
10:30	カールベクスハウスにて 野崎洋光さんの料理教室「里山の台所」
12:00	昼食
13:00	閉講式
13:30	まつだい駅解散



泊先は以下のとおりです。

越後松之山温泉 ひなの宿ちとせ

〒942-1432 新潟県十日町市松之山湯本 49-1

TEL 025-596-2525 fax 025-596-2117

URL: <http://www.chitose.tv/>

※日本再発見塾は、合宿形式をとっております。原則相部屋になりますのでご容赦願います。

■開校式(昼食)

大地の芸術祭のメインステージのひとつ「農舞台」にある「まつだい里山食堂」にて昼食をしながらの日本再発見塾 in 十日町の開講式を行います。現代アートが里山を表現する建物の中で、地元の旬の食材を丁寧料理した昼食をとりながら2日間のテーマを確認します。

■中尾集落の棚田

松之山中尾集落、樋口一次さんの棚田にお世話になって続けているお米作り。豊かなブナの森から流れ込む清らかな水、農薬を使わず、田植え、参加者の手で草を取って、手刈りハザ掛天日乾燥したお米は最上級の魚沼産コシヒカリです。美味しいお米であるだけでなく、地域に関わりも楽しみのひとつです。たった1~2粒の種からでた早苗を植えてください。秋にはそれがお茶碗一杯分のお米になります。その不思議を体験してください。

■直会(なおりい:交流会)

松之山温泉街に建つ「地炉」は、200年ほど前の古民家を再生したものです。中には囲炉裏が切っており、火を囲みながら過ごす時間と空間はとても心地いいです。温泉の熱を使った「湯治豚」などのお料理も楽しめます。郷土料理、囲炉裏で焼いた肴をつまみ地酒を酌み交わしながら、子供たちに残すべき里山の未来について地元の方たちと楽しく語り合いたいと思います。

■越後妻有の山菜

越後妻有地方は山菜の宝庫です。それはこの地域が豪雪地帯であることに関係しています。冬間、深い雪に覆われたれ新芽は動物に食べられないこと。雪に包まれていた新芽はアクが少なく柔らかいこと。雪融け水が豊富であること。雪里の風土が美味しい山菜を育むからです。縄文の時代から人が住む土地ですが、雪にすっぽりと覆われる冬の生活は保存食で食い繋いできました。春の山菜は雪が融けたところから競うように芽を吹き、畑で野菜が取れるまでの貴重なビタミン源であり、薬膳となり、雪国に暮らす人々の健康の源でした。

■野崎洋光さんの「里山の台所」

trico のアドバイザーとして忙しい時間を縫って十日町に何回か足を運んでくださっている「分とく山」の総料理長、野崎洋光さんをこの田植えにもお招きします。野崎さんと一緒に春山の山菜、地元の食材、魚沼産コシヒカリを使った料理を地元のお母さん方と一緒に作ります。もちろんこのイベントにご参加の皆さんも一緒にご参加頂き、作り、食べ、語らい大いに楽しみましょう。



持ち物のご案内

- ① 濡れてもいい服装 (長袖、長ズボン、腕カバーも有効)
- ② 雨具
- ③ 帽子
- ④ 田植え長靴
- ⑤ サンダル
- ⑥ 長靴 (田植え長靴が理想)
- ⑦ 軍手
- ⑧ タオル
- ⑨ 着替え
- ⑩ 双眼鏡 (朝の散歩で野鳥を見るのに便利)
- ⑪ 虫避け
- ⑫ 虫刺されの薬



参加申込み方法

参加費 大人（中学生以上）：16,500円 小人：12,000円

参加費に含まれるもの

30日：昼食、田植え体験費用、入湯税、夕食、交流会、宿泊、まつだい駅への送迎

31日：朝食、山菜採り体験費用、昼食、入湯税、及び2日間の保険料

現地集合、現地解散のため、ほくほく線まつだい駅までの交通費は含まれておりません。

※日本再発見塾は、合宿形式をとっております。原則相部屋になりますのでご容赦願います。

●ホームページからのお申し込み

申込みフォーム (<http://manma.be/saihakken/saihakken.html>) のツアー名の欄で「日本再発見塾 in 十日町」を選択、以下の必要項目をご記入頂き、「メールを送信する」のボタンを押してください。

●メールでのお申し込み

全項目をご記入の上、以下のメールアドレスまでお送りください。

松之山温泉合同会社まんま

E-mail : info@manma.be

1.代表者のお名前（ふりがな）

・年齢、性別

2.連絡先

・郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス

3.交通手段

4.同行者

・お名前（ふりがな）

・同行者それぞれの年齢、性別

●FAX.でのお申し込み

別紙の参加申込書様式に必要事項をご記入の上 FAX でお申し込みください。

松之山温泉合同会社まんま

FAX.番号 025-596-2117

お申し込み締切日：平成 27 年 5 月 25 日（月）

5月25日(月)15:00までに代表者の方が下記口座へ全員分の参加費をまとめてお振込みください。

振込先 ●ゆうちょ銀行 総合 記号 11290 番号 17626451

マツノヤマオンセン（ド）マンマ

他金融機関からのお振り込みは

[店名] 一二八 [店番] 128 [口座番号] 普通No.1762645

●十日町農業協同組合 松之山支店

普通No.0006834 マツノヤマオンセンゴウドウガイシャマンマ

期日までにお振込みがない場合はキャンセルされたものとみなします場合がありますので、ご注意ください。

連絡・送信先	<p>申込み先：松之山温泉合同会社「まんま」</p> <p>〒942-1432 新潟県十日町市松之山湯本 49-1</p> <p>TEL・FAX 025-595-8588 （出ない場合は TEL 025-596-2114）</p> <p>E-mail : info@manma.be URL : http://manma.be</p>
--------	--

「市（まつだい、松之山）へのアクセス

（車でご参加の方）

30日11時30分までに農舞台駐車場（まつだい駅南側）へ駐車して下さい。

m（関越自動車道から約80分）

農耕文化村センター農舞台まつだい食堂へ集合してください。

関越自動車道

塩沢石打 I C 大沢トンネル経由（17号線船押を左折（76号線））で国道117号へ
山本交差点を左折して国道253号線松代方面へ

六日町 I C 八箇トンネル経由（国道253号線）を十日町方面へ

ほくほく線まつだい駅の南側にまつだい農耕文化村センター「農舞台」があります。

車は、まつだい駅駐車場あるいは農舞台の駐車場にお願いします。



自動車でのアクセス

[東京方面から]

関越自動車道塩沢石打 I.C—R253
(約 50 分)

[新潟方面から]

関越自動車道越後川口 I.C—
R117・253 (約 50 分)

[北陸方面から]

北陸自動車道上越 I.C—R253 号
(約 60 分)



まつだい雪国農耕文化村センター
『農舞台』

新潟県十日町市松代 3743-1

TEL : 025-595-6180

(電車でご参加の方)

まつだい駅に着きましたら南口にあるまつだい農耕文化村センター農舞台「まつだい
里山まつだい食堂」に集合してください。

北陸新幹線開業に伴い、大幅にダイヤが改正されていますのでご注意ください。

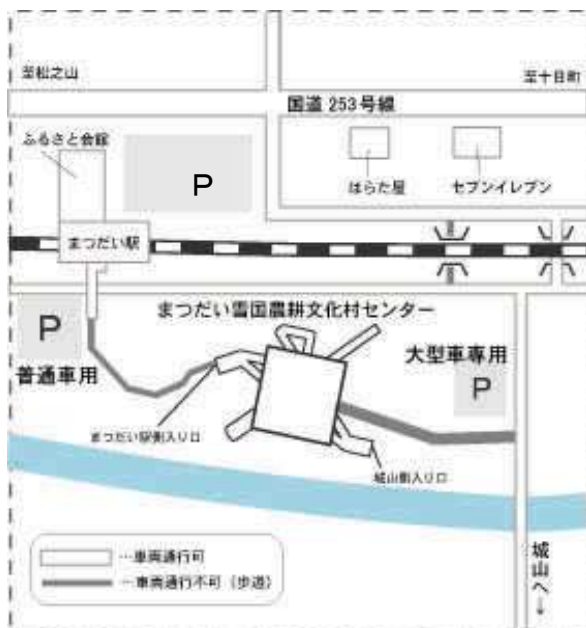
東京方面から	東京→	上野→	大宮→	高崎→	越後湯沢
■MAX とき 309	08:52	08:58	09:18	09:50	10:23

新潟方面から	新潟→	燕三条→	長岡→	浦佐→	越後湯沢
■MAX とき 314 号	09:16→	09:29→	09:40→	09:54→	10:07

越後湯沢乗換え	ほくほく線 (0番線)
	越後湯沢→ まつだい
	10:38 11:19

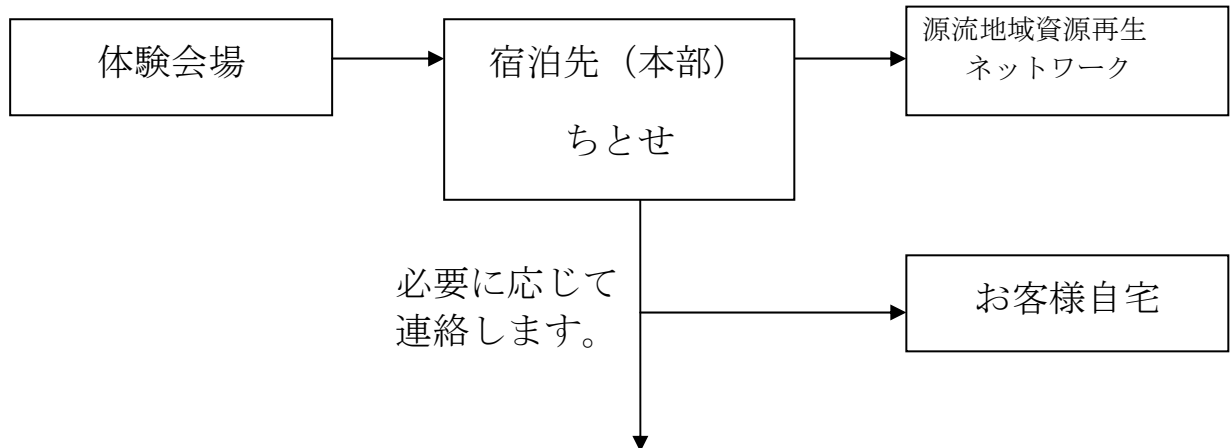
詳しい列車時刻表については、以下のほくほく線のホームページをご覧ください。

<http://www.hokuhoku.co.jp/index.html>





緊急連絡体制



	機関名	住所	電話番号	FAX 番号
行政機関	十日町市役所	十日町市千歳町 3-3	025-757-3111	025-752-4635
警察機関	十日町警察署	十日町市河内町 5-10	025-752-0110	
消防機関	十日町地域 消防本部	十日町市北新田 1-10	025-757-0119	025-757-8499
	しぶみ分署	十日町市松之山小谷 969-5	025-597-2310	025-597-2809
医療機関 (主な病院)	十日町病院	十日町市高田町 3 南	025-757-5566	
	松代病院	十日町市松代	025-597-2100	
	国保松之山診療所	十日町市松之山	025-596-2240	

休日救急医

5月31日(日) 国保川西診療所 十日町市高原田(川西) 電話 025-768-2034

- ・健康保険証・各種医療費受給者証と受診料は、必ずお持ちください。
- ・他のお医者さんから薬をもらっている方は、その薬をお持ちください。

	機関名	住所	電話番号	FAX 番号
宿泊先 (本部)	宿泊先:ひなの宿ちとせ	〒942-1432 新潟県十日町市松之山湯本 49-1	025-596-2525	025-596-2117
企画運営	一般社団法人 源流地域資源再生 ネットワーク	〒948-0006 十日町市四日町 1426 の 6	090-9379-840 7	
	松之山温泉合同会社 「まんま」 info@manma.be	〒942-1432 新潟県十日町市松之山湯本 49-1 ひなの宿千歳内	025-596-2525	025-596-2117